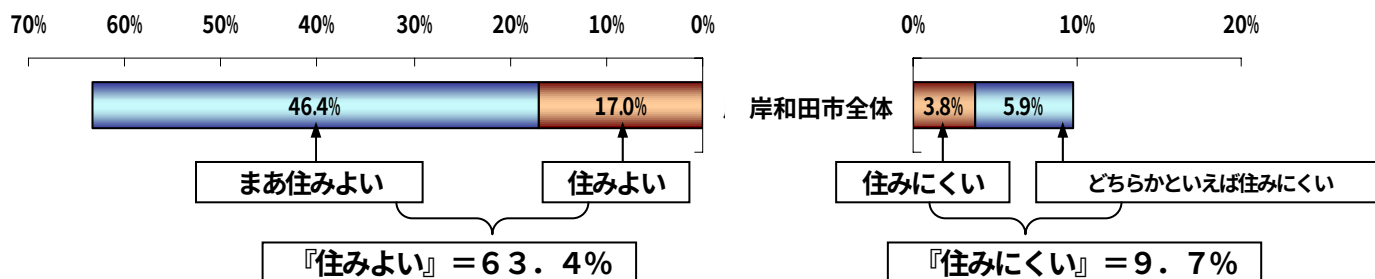


第3 住みやすさ意識調査結果

1 全体の結果

「問1」の住みやすさ意識調査の結果、「住みよい」(17.0%)と「まあ住みよい」(46.4%)を合わせた『住みよい』は63.4%となっており、6割を超える人が「岸和田市は『住みよい』」と評価しています。

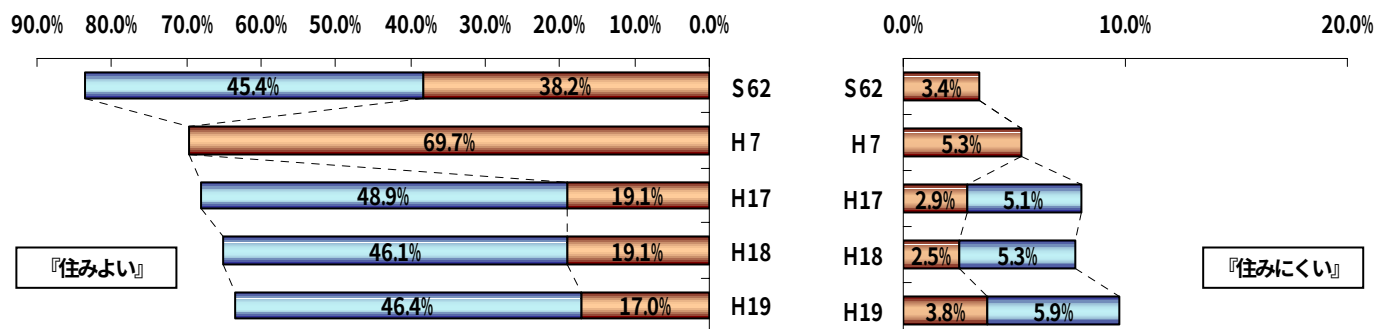
一方、「住みにくい」(3.8%)と「どちらかといえば住みにくい」(5.9%)を合わせた『住みにくい』は9.7%となっており、約1割の人が「岸和田は『住みにくい』」と感じています。



2 経年変化

岸和田市を『住みよい』と感じている人は、昭和62年調査には83.6%と8割を超えていましたが、平成7年調査には69.7%と7割を切り、今回調査では63.4%と、岸和田市の住みごこちを評価している人が年々減少しています。

一方、岸和田市を『住みにくい』と感じている人は、昭和62年調査には3.4%であったものが、平成7年調査で5.3%、今回調査で9.7%と増加傾向にあります。



3 属性分析

(1) 地域別

『住みよい』は「岸和田中部地域」(68.9%)、「都市中核地域」(65.5%)、「葛城の谷地域」(65.1%)などで高い一方、『住みにくい』は「葛城の谷地域」(11.3%)、「岸和田北部地域」(10.8%)、「久米田地域」(10.4%)、「牛滝の谷地域」(10.4%)などで高くなっており、南高北低の傾向になっています。

(2) 性別

『住みよい』は「女性」(65.3%)が「男性」(61.9%)よりも3.4ポイント高くなっているとともに、『住みにくい』も「女性」(9.8%)が「男性」(9.5%)を0.3ポイント上回っています。

(3) 年齢別

『住みよい』は「50～59歳」(66.2%)、「60～64歳」(65.9%)などで岸和田市全体(63.4%)を上回っており、中年期で高い傾向になっている一方、『住みにくい』は「30～39歳」(13.3%)、「15～19歳」(13.2%)、「20～29歳」(10.5%)などで岸和田市全体(9.7%)を上回っており、若い世代で高い傾向になっています。

(4) 職業別

『住みよい』は「公務員」(75.7%)や「農林漁業」(75.0%)などで高い一方、『住みにくい』は「会社員」(11.2%)、「派遣社員」(11.1%)、「専業主婦[夫]」(10.8%)などで高くなっています。

(5) 出生地別

『住みよい』は「岸和田市」(68.4%)、「大阪府内」(61.0%)、「大阪府外」(58.3%)の順、『住みにくい』は「大阪府内」(12.1%)、「大阪府外」(10.9%)、「岸和田市」(7.8%)の順で高くなっています。

(6) 家族構成と世帯人員別

家族構成別にみると、『住みよい』は「親・子・孫[3世代]」(68.2%)で最も高い一方、「単身」(59.2%)で最も低くなっており、多世代世帯ほど高い傾向になっています。

また、世帯人員別にみても、『住みよい』は「7人以上」(74.5%)で最も高く、大家族ほど高い傾向になっています。

(7) 同居別

『住みよい』は「65歳以上の高齢者がいる」(66.6%)が「養育中の子どもがいる」(62.8%)を3.8ポイント上回っている一方、『住みにくい』は「養育中の子どもがいる」(10.5%)が「65歳以上の高齢者がいる」(10.2%)を0.2ポイント上回っています。

